

## 今号の作業

# リヤダンパーをチェックする②



今号では、2本目のリヤダンパーをチェックする。前回と同じく、ダンパーシャフトにグリスを塗布し、スムーズに伸縮するかをチェックしよう。

### 今号のパーツ

- ①リヤダンパー×1
- ②ダンパーエンド固定ピン×1
- ③ビス(Fタイプ)×1

※②③は今回使用しないので、大切に保管しておこう。



※モデルの設計上、パーツの形状が実車とは異なる場合があります。  
※「組み立てガイド」で紹介しているパーツは実際に付属するパーツと一部仕様異なる場合があります。

### 使用する道具

・特になし

### 用意するもの

・グリス(6号で提供し、保管しておいたもの)  
・つまようじ(先端が細いものであれば代用可)  
・ティッシュペーパー

STEP  
1

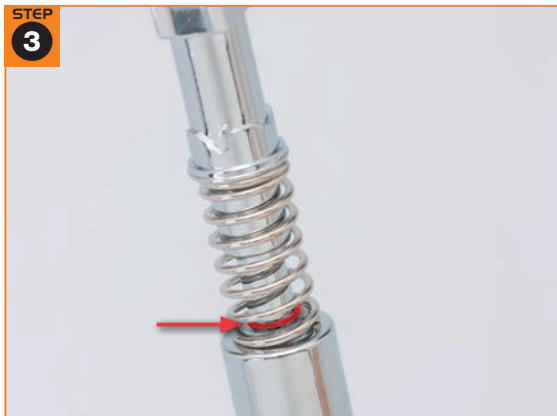


6号で提供したグリスを用意し、つまようじの先端に少量を盛り付ける。

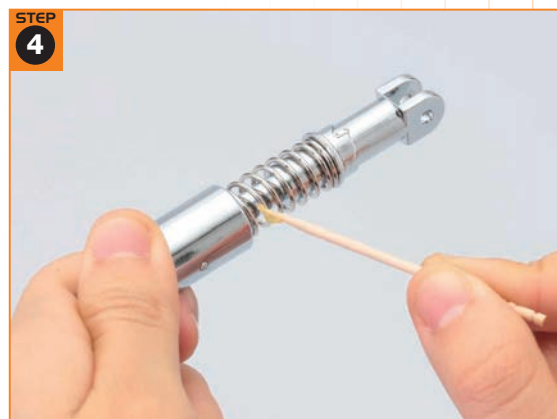
STEP  
2



盛り付けるグリスの量は、米粒程度でよい。それ以上だと、ダンパースプリングのすき間を通しにくくなってしまいますので注意しよう。



①リヤダンパーの、先端にリングが付いている方を下に持ち、写真で示した位置を確認しよう。ダンパースプリングの中を通っているシャフトの根元部分、境目のすき間にグリスを塗布する。



ダンパースプリングのすき間から爪楊枝を差し込み、シャフトの根元部分にグリスを塗布する。1度に塗布できる量が限られているので、2、3回繰り返す。



ダンパーの上下をしっかりと持ち、力を入れて伸縮させる。ダンパースプリングが硬いので、怪我をしないよう注意。



ティッシュペーパーを使って、ダンパー本体やダンパースプリングに付着したグリスを軽く拭きとろう。



今回の作業で使用しなかった②ダンパーエンド固定ピンと③ビス(Fタイプ)は、ビニール袋に号数を記入して紛失しないよう保管しよう。

### 今号の完成



今回の作業はこれで完了だ。ダンパースプリングが硬めなのは、完成したマシンの重量を確実に支えるための配慮。それだけでもマシンの重量感が容易に想像できるだろう。チェックを終えたリヤダンパーは、表面に傷などが付かないよう大切に保管しておこう。